とびラー募集チラシ

とびラー募集チラシは、東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携して行っている「とびらプロジェクト」で活動するとびラーの募集に関する情報と、募集説明会である「とびらプロジェクトフォーラム」に関する情報を掲載しています。このテキストは「音声読み上げ用」に作成しているため、チラシPDFとは、文章や表現などが異なっている部分があります。

# 表紙について

チラシの表紙には、イラストで「とびラー」が活動しているイメージが描かれています。壁に展示された作品をみながら気がついたことを話している3人、テーブルに集まって話し合いをしている3人、本を持って向かい合う２人、画面手前には２人の人が話しながら、そのうちの１人が指をさし、その方向へ移動しようとしています。それぞれが和やかで楽しそうに会話して過ごしている様子がライトグレーを背景とした空間の中で描かれています。

ページの上には、「アート・コミュニケータをとびラーとよびます。とびラー募集！」と書かれています。ページの下には、締切 2023年1月31日(火曜日)消印有効、定員40名と書かれています。

# とびらプロジェクトについて

チラシの2ページ目では、「とびらプロジェクト」について説明しています。

「とびらプロジェクト」とは東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携し、アートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。

美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、そこから生まれる新しい価値を、実践を通して社会に届けています。今年も活動の主体となるアート・コミュニケータ、とびラーを40名募集します。

東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケータ、とびラーとして活動に参加してみませんか。

とびラーの活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

とびらプロジェクトはアートを介して人々の中に新しい価値を育む活動を行っています。

例えばこんな活動があります。

人々のつながりを大切にした新しい対話の場、コミュニティづくり

本物の作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム

障害のある方など美術館に来館しづらい方々を対象とした特別鑑賞会の開催

建築家・が設計した東京都美術館の建築を活用したプログラム

美術館を活用して、自ら学び考えることを育む鑑賞授業の実施、学校との連携

上野公園に広がる9つの文化施設をつなぐ活動の推進、Museum Start あいうえのとの連動

歳を重ねる中で作品と人がクリエイティブに出会える高齢者向けプログラムを推進するCreative Ageing ずっとび との連携

# とびラー募集について

チラシの2ページ目と3ページ目では、とびラー募集に関する情報を掲載しています。

応募条件

1 2023年4月1日時点で18歳以上のかたで、日本語で日常会話ができるかた。高校生を除きます。

2　美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のあるかた

3　東京都美術館のミッション、使命と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できるかた

4　2023年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能なかた

5　2023年7月以降、月2回以上の活動に参加可能なかた

6　パソコンなどでのEメール送受信が可能なかた

東京都美術館のミッション

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートヘの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。

そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が活きる社会をつくることにつながります。

東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貫献します。

活動条件

1　アート・コミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。

ただし、ワークショップや講座等学びのコミュニティに無料で参加できます。

2　アート・コミュニケータの登録期間は1年間とします。

次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。

3　とびらプロジェクトのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。

活動場所　東京都美術館、東京藝術大学など。

講座内容

基礎講座

日程：2023年4月15日、29日、5月13日、27日、6月10日、24日、すべて土曜日、10時～15時予定

場所：東京都美術館、東京藝術大学

内容：

美術館での活動についてや対話の場づくり、作品を通したコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

実践講座

2023年7月から実践講座が始まります。

募集人数

40名

応募方法

次の書類を郵送してください。

1　応募用紙

「アート・コミュニケータ応募用紙」に必要事項を記入してください。

とびらプロジェクトウェブサイトよりダウンロードしてください。

リンク　アート・コミュニケータ応募用紙（pdf）→<https://tobira-project.info/wp-content/themes/tobira2015/img/bosyu/pdf/tobira_oubo2023.pdf>

2　課題

A4用紙1枚にまとめてください。まとめかたは自由です。

3 返信用封筒1通

長形3号の定型封筒に84円切手を貼り、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

郵送の際には、封筒の表面に、「アート・コミュニケータ応募書類在中」、と赤字で書いてください。

募集日程

応募受付期間終了後、1次選考の書類審査、2次選考の面接審査を予定しています。

応募受付期間

2023年1月4日（水曜日）～ 1月31日（火曜日）消印有効

１次選考、書類審査

選考結果は2023年2月20日（月曜日)発送で応募者全員にお知らせします。

２次選考、面接審査　※面接は東京都美術館にて対面で行います。

2023年3月3日（金曜日)～5日(日曜日)のいずれか1日。

選考結果は2023年3月15日（水曜日)発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

課題

1次選考の課題は次のとおりです。

アート・コミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。

美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。

まとめ方の様式は自由ですが、A4規格ではない用紙を使ったものや、A4用紙の両面を使ったものは選考対象となりませんので、ご注意ください。

なお、2次選考の面接は、アート・コミュニケータの活動をとびらプロジェクトや「Museum Start あいうえの」のウェブサイト、参考図書などで確認いただいていることを前提に行います。

リンク　[とびらプロジェクトウェブサイト](https://tobira-project.info/)

リンク　[Museum Start あいうえのウェブサイト](https://museum-start.jp/)

リンク　[Creative Ageing ずっとび](https://www.zuttobi.com/)

参考図書

「美術館と大学と市民がつくる ソーシャルデザインプロジェクト」、とびらプロジェクト編、青幻舎、価格1,600円＋税、全国の書店やインターネット書店で発売中。

注　参考図書のテキストデータを希望されるかたは、下記のメールアドレスまでご相談ください。

メール：q-tobira@tobira-project.info

書類郵送先

東京都美術館アート・コミュニケータ募集担当宛

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。

応募者の個人情報は 、アート・コミュニケータの選考に関すること以外には一切使用しません。

# とびらプロジェクトフォーラムのご案内

チラシの裏表紙では、2023年1月22日（日曜日）開催予定の「とびらプロジェクトフォーラム」に関するご案内をしています。

## 第一部

2023年1月22日(日曜日)13時～15時30分、受付開始12時30分

会場：東京都美術館 講堂定員：220名定員になり次第締め切ります。手話通訳あり、文字通訳あり。

テーマ：おせっかいマインドでいこう！変動する社会におけるコミュニティづくり

2012年のスタートから11年、とびらプロジェクトでは、美術館を拠点に、多様な人々が作品や文化財を介して関わり合う活動を育んできました。2022年4月には11期とびラーを迎え、今年度も新たな対話の場づくりに取り組んでいます。この間、社会の情勢に応じて、人々の生活やコミュニティの在り方は多様に変化し続けています。

コミュニティを育む実践を重ねていく中で、私たちは今改めて、「おせっかい」と表される気持ちや行動の在り方、かかわり方に注目しています。人と人とのつながり方が見直されるコロナ禍においては、他者に関心を寄せ、自ら半歩踏み出して関ろうとする意識がコミュニテイを豊かに育むエネルギーの源となるのではないでしょうか。今回のフォーラムでは、こうした他者への想像から始まる主体的な関係づくりに目を向け、健やかなコミュニティの育み方を議論していきます。任期満了したアート・コミュニケータやとびラーをゲストに迎え、これまでの実践を振り返りながら、「おせっかい」と呼ばれるかかわり方を解きほぐすことで、変動する社会におけるコミュニティに必要なマインドや、アクションについて考えていきます。

キーワードは、#かかわりしろ　#ミュージアム　＃アート　#コミュニティ　＃他者への想像　＃パーソン・センタード

みなさまのご参加をお待ちしています。

1. とびらプロジェクトの紹介

発表者、　東京藝術大学 美術学部 特任助教、とびらプロジェクト マネジャー

2 トークセッション 11年間の挑戦！変動する社会におけるコミュニティづくり

から。 登壇者、アート・コミュニケータ、、、3 ディスカッション　おせっかいマインドでいこう！

登壇者

　プランニング・ディレクター/リビングワールド代表

　東京都美術館　学芸員　アート・コミュニケーション係長、とびらプロジェクトマネジャー

　東京藝術大学　美術学部　特任助教、とびらプロジェクトマネジャー

## 第二部　とびラボ　オープンセッション

2023年1月22日(日曜日)15時45分～17時

会場：東京都美術館 講堂、アートスタディルーム、スタジオとびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびラボなどのとびラーの普段の活動についてご紹介します。とびラーがみなさまからのご質問にもお答えします。時間内はご自由に出入りできます。

## 参加申込方法

参加費無料、事前申込制、先着順

とびらプロジェクトフォーラムに参加する場合は、とびらプロジェクトウェブサイト内の申込フォームからお申し込みください。

申込フォーム　リンク→<https://tobikan.jp/form/335>